

# 事業者と共に 解決策を探る 良き相談相手に



**原口 勝全**

HARAGUCHI Katsumasa

株式会社原口経営コンサルタントオフィス  
代表取締役  
(北海道帯広市)

「よろず支援拠点」という経営相談窓口をご存じでしょうか。よろず支援拠点は、中小企業が各都道府県に設置している中小企業・小規模事業者向けの無料の経営相談窓口で、第一次産業の皆さまも利用可能です。私は北海道帯広市在住で北海道よろず支援拠点のコーディネーターを務めています。

北海道よろず支援拠点は札幌本部と道内6カ所の支部があり、コーディネーターは、中小企業診断士、弁護士、税理士のほか、食品加工、6次産業化、食品衛生・HACCP、商品・メニュー開発、ブランディング、販路提案など、第一次産業の皆さまの相談を受ける食分野の専門家もおり、農業経営アドバイザーである私も農業者から相談を受け

## はらぐち かつまさ

2014年4月より原口経営コンサルタントオフィス代表取締役を務める。上級農業経営アドバイザー、中小企業診断士。

ています。

**数**年前、旧知の間柄の畜産業の社長から「補助金を活用して牛の体調を感知するセンサーを導入したい」と相談がありました。私は単純に「導入目的はICT化

この「これまでの仕事の進め方を疑ってみて、より良い方策がないか模索してみる」という発想は、経営資源に限られる事業者への助言を生業とする私には、極めて重要な視点であることを再認識する好



©矢部写真事務所

による生産性の向上」と認識しましたが、意見交換するなかで、社長が解決しようとしている本質的な課題がもう一つあることがわかりました。それは、「ベテラン職員の仕事ぶりを見て覚える」という属人的なノウハウを拠り所とする従来の仕事の仕組みを根本的に変えることにありました。新たなビジネスモデルを構築中であった当牧場には、「若手人材の確保と育成」「業務レベルの均一化」「省力化による長時間労働の解消」は必要不可欠な取り組みだったのです。

機となりました。

相談を受ける立場としては、日々新たな課題に直面しながら事業者と問題意識を共有し、解決策を探ることで新たなノウハウが蓄積され、資産となっていきます。これを広く還元できる点に、われわれの存在意義があると考えます。皆さまがさまざまな経営課題に取り組む過程で、第三者の視点の必要性を感じたときには、相談相手として農業経営アドバイザーとお近くのよろず支援拠点を思い出していただければ幸いです。 **F**



農業経営アドバイザーは農業経営者のニーズに対応し、経営への総合的的確なアドバイスを実践する専門家です。2005年、農業経営の発展に寄与することを目的に日本公庫が資格制度を創設しました。本コーナーは、上級資格である上級農業経営アドバイザーが執筆しています。